

KAVC FLAG COMPANY 2019-2020

プロトテアトル第九回本公演 『X X』

試

protothéâtre

KAVC FLAG
COMPANY 2019-2020

「KAVC FLAG COMPANY 2019-2020」公演 第7弾！

プロトテアトル史上最大人数で描く、架空の街を舞台に繰り広げる追憶の劇

神戸アートビレッジセンター [KAVC] (神戸市兵庫区、指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団、館長：大谷燠) は、「KAVC FLAG COMPANY 2019-2020」の第7弾公演として、プロトテアトル「X X」の公演を開催します。

「KAVC FLAG COMPANY」は、舞台芸術分野における KAVC の年間プログラムとして、2019 年より新たに始まった舞台芸術セレクションです。アーティストと劇場が協働して多様な舞台表現を生む“創る劇場”を目指し、その基盤をつくるべく本企画を始動いたしました。初年度となる今回は、舞台芸術プログラム・ディレクターのウォーリー木下氏がセレクトした、関西を拠点に意欲的な作品を発表している7つの劇団の演劇公演を、当センター KAVC ホールにて、一年を通して上演いたします。

第7弾公演に登場するプロトテアトルは、2013年にFOペレイラ宏一朗を中心に、近畿大学に通う同級生で旗揚げした劇団です。誰もが共感できる出来事を扱い、静かでリアルな会話を軸に、観客の過去の思い出や経験を呼び起こす作品を多く生み出しています。劇団を主宰し、作・演出を務める FO ペレイラ宏一朗は、『どこよりも遠く、どこでもあった場所。あるいは、どこよりも近く、何も無い。』が第26回 OMS 戯曲賞の最終候補にノミネートされるなど、今注目の若手劇作家です。

「X X」は、プロトテアトルが第2回本公演として2014年に発表した作品「アサ村ショウ一郎」をリライト、再構成した新作です。架空の街を舞台に、曖昧な記憶、認識のズレや、捉えられない人物像から生まれる悲劇を描きます。

会 場：神戸アートビレッジセンター KAVC ホール

公演日：2020年2月14日(金)～2月16日(日)

2月14日(金) 19:00

2月15日(土) 13:00 / 18:00 ★

2月16日(日) 13:00 / 17:00

※開演の45分前受付開始、30分前開場

※未就学児童の入場は不可

★…終演後、アフタートークあり

登壇者：中屋敷法仁(柿喰う客)、ウォーリー木下、FOペレイラ宏一朗



チケット料金：

一般：前売 2,800 円 / 当日 3,000 円、学生：前売 2,000 円 / 当日 2,500 円、高校生以下：1,000 円 (前売 / 当日共)

※初日割 (14日19時の回のみ) 一般：前売 2,300 円 / 当日 2,500 円、学生：前売 1,800 円 / 当日 2,000 円、高校生以下：1,000 円 (前売 / 当日共)

※学生・高校生以下は要証明書

企画・製作：プロトテアトル 担当 尾崎 ((同) 尾崎商店)

TEL 090-3944-9902 FAX 06-6321-2513

※公演内容に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

会場・共催：神戸アートビレッジセンター (指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団) 担当 竹下・野澤

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356 Mail press@kavc.or.jp

作品について

山を隔てた隣町では、近く大きなお祭りが行われるらしい。そのためこの街では人が少なくなっている。青年は、どこにでもいるようなごく普通の人間だった。恋をしたり、幸せを夢見たり、希望を持っていた。街の中で起きたある事件をきっかけに、青年は変わっていく。彼から延びた影は、ただただ光へと向かい突っ走る。

作・演出：FO ペレイラ宏一朗

出演：

小島翔太、豊島祐貴（以上、プロトテアトル）

宇垣サグ（聖なる犬殺し）、大形駿也（ハコボレ）、岡田望、ガトータケヒロ（シイナナ）、香川由依、たろう（PROJECT おふざげちゃん。）、鶴佳（演劇研究会はちの巣座）、友井田亮、ナカメキョウコ（エイチエムピー・シアターカンパニー）、浜田渉、片彩眞璃（シバイシマイ）、吉田凧詐（聖なる犬殺し）

演出助手：有川水紀（プロトテアトル）、皆都いづみ（シイナナ）

照明：幸野英哲（PAC west inc.）

ドラマトウルク：吳光倩

広報：（同）尾崎商店

舞台監督：西野真梨子

当日運営：若旦那家康（コトリ会議）

美術：松本謙一郎

宣伝美術：Mock Mop' s

音響：廣岡美佑

制作：プロトテアトル

共催：神戸アートビレッジセンター（指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団）

企画・製作：プロトテアトル

団体からのコメント

2014 年に上演した「アサ村ショウ一郎」という作品を大幅にリメイクして挑みます。「他者によって語られる個人」というものにスポットを当て、架空の町を舞台に、曖昧な記憶、認識のズレや、捉えられない人物像から生まれる悲劇を描きます。プロトテアトルとしては最大人数、最大規模での作品になります。

プロトテアトル プロフィール

「protothéâtre＝試作劇場（あるいは試作演劇）」

2013 年 6 月、主宰 FO ペレイラ宏一朗を中心に近畿大学に通う同級生で旗揚げ。扱う作品に決まった形はないが、人生において普遍的であり、誰しもが共感できる出来事を扱うことが多い。静かでリアルな会話を主とし、観客の過去の思い出や経験と呼び起こす。「借景」に似た作り方をしている。短編演劇祭「フェスティバル」など、本公演だけでなく独自の企画や、夜間定時制高校を舞台にした作品で学校公演なども行っている。2015 年 2 月、第四回本公演「ノクターン」がウイングカップ 5 最優秀賞を受賞。2019 年、第七回本公演『どこよりも遠く、どこでもあった場所。あるいは、どこよりも近く、何も無い。』が第 26 回 OMS 戯曲賞の最終候補にノミネート。

企画・製作：プロトテアトル 担当 尾崎（(同) 尾崎商店）

TEL 090-3944-9902 FAX 06-6321-2513

※公演内容に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

会場・共催：神戸アートビレッジセンター（指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団） 担当 竹下・野澤

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356 Mail press@kavc.or.jp